

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

#### 中期取組目標

- いろいろな人との豊かなかわり合いを通して自分や他者のよさを理解し、自分の思いをできる子を育てます。
- ・対話的な学習、体験的な学習などを通して、主体的に友達と学び合い、自分の考えを表現し、深めていけるようにします。
  - ・交流活動や体験活動を重視し、互いに認め合う心や自尊感情を高め、自信をもてるようにします。
  - ・児童理解に基づいた児童指導を全教職員の共通理解のもとに進め、迅速・正確・丁寧に対応します。
  - ・学校運営協議会、サポーター協議会、PTA組織を生かし、児童の豊かな教育活動につなげていきます。

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①ペア学年やたてわり学年の活動を年間通して行う。 ②児童委員会や学校保健委員会を通して児童が主体となって課題に取り組んでいけるようにする。 ③道徳教育や人権教育を充実させ、自分・他者理解や思いやりの心を育む。
担当	指導部	④幼保小連携を1、5年で、中学校交流を6年生で行う。

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

落ち着いた生活環境にあり、児童は落ち着いて学習に取り組み、友達とも仲良く活動しています。また、素直で物事を前向きにとらえ、よく努力します。その反面、自分から考えて行動せず指示を待っている様子が見られたり、コミュニケーションの不足から友達関係がうまくいかなくなったりすることがあります。保護者・地域は学校への関心が高く協力的です。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

道徳教育の要となる「道徳の時間」の指導を通して、子どもが自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにします。

- 全学級の道徳の授業を保護者・地域に年1回以上公開します。
- 自分の問題として考えられるよう、問題解決型学習を展開し、自己を振り返って深く見つめ、考えを素直に表現できるようにします。

### 【項目 体験活動の充実】

望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする態度を育てます。

- 「ペア学年」活動を通して、遠足や清掃活動だけでなく様々な機会をとらえて交流し、互いに協力し良さを認め合いながら自主的・意欲的に活動できるようにします。
- 地域と協力して清掃活動を行い、地域の人の温かさにふれることを通して、地域を愛する心を育てます。

### 【項目 確かな人権感覚・意識の育成】

子どもの社会的スキル横浜プログラムを授業の中で実施することを通して、子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を育て、だれもが安心して豊かに過ごすことができるようにします。

- 人権教育の年間計画に子どもの社会的スキル横浜プログラムを位置づけて実施し、子どもの社会的スキルの系統的な育成を図ります。
- OY-P アセスメントの支援検討会を低・中・高ブロックで実施し、人権感覚・意識を育成します。